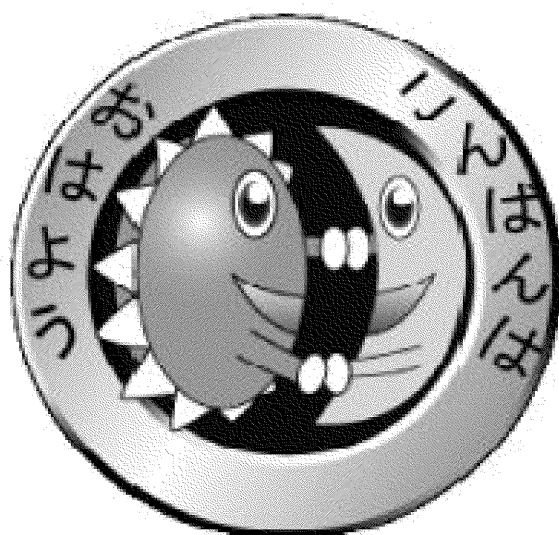


平成28年度
羽幌町社会教育事業計画書



あいさつは心と心のかけはしです 家庭から地域からあいさつの輪を広げましょう

学校・家庭・地域が連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」運動に取り組みましょう

羽幌町教育委員会

羽 幌 町 教 育 目 標

(平成4年2月27日改定)

1. 社会の変化と生涯学習

21世紀の変化と展望した教育改革を推進するとき、基本的な課題は生涯学習社会を実現することである。臨時教育審議会が生涯学習社会への移行を提言し、生涯学習の重要性を指摘した背景としては、学校中心の考え方から脱却し生涯学習体系へ移行する必要があること。所得水準の向上や自由時間の増大等に伴う学習需要の高度化・多様化に対応する必要があること、同時に都市化や物質的豊かさの中で、家庭や地域の教育力を回復する必要があること。科学技術の進歩や産業構造の変化に伴い、新しい知識・技術を習得するための学習需要が増大していることがあげられる。

このような要請に応じるためには、学校教育の基礎の上に、人々が各人の責任において、自由に選択し、生涯を通じて学習できるよう多様な学習機会を整備していくことが必要である。

2. 生涯学習における学校の役割

学校は、生涯学習体系においても次の二つの点において極めて重要な役割を持っている。第1は、学校教育が人々の生涯学習の基盤を培うことであり、第2は、学校自体も生涯学習体系の一環として、人々に対して様々な学習機会を提供することである。

学校教育とりわけ初等中等教育の段階においては、生涯学習の基盤を培うため、基礎的、基本的な内容を確実に身につけさせること及び自己教育力すなわち自ら主体的に学ぶ意志、態度、能力を育成することが重要である。

このような観点は、これまでの学校教育においても重要視されてきたが、これらをより一層重視することが必要である。

3. 社会教育の新たな展開

生涯学習の機会・場として、社会教育は極めて重要な役割を果たすものである。

近年、所得水準の向上、自由時間の増大、高齢化の進歩等に伴い人々の学習意欲は高まり、また、科学技術の進歩や産業構造の変化に伴い新たな学習需要が増大している。

さらに、都市化や物質的豊かさの中で、家庭や地域の教育機能の活性化が求められている。

このような状況を踏まえ、今後、社会教育においては、人生80年代に対応した多様な学習機会の整備、家庭教育に関する学習機会及び青少年の様々な生活体験の充実、施設・指導者のネットワークの形成、学習のための各種メディアの効果的活用等を重視した施策の展開が必要である。

本文

1. 生命を尊び、健康でたくましく生きる人

自他の生命の尊重を基本とし、羽幌の厳しい自然条件を克服する強靱な気力・体力を身につけることが肝要です。

そのため、地域や季節・環境にあったスポーツを日常的に生活の中に取り入れ、心身を鍛えることが必要です。また、その中で最後までやり抜く強い意志と実践的行動力を育成することが大切です。

(学校教育の推進事項)

- (1) 学校教育全体を通じた生命尊重の意識の向上。
- (2) 郷土羽幌の気候風土に適した学校教育の推進とスポーツの日常化。
- (3) 保健教育・安全教育の徹底と交通安全運動の推進。

(社会教育の推進事項)

- (1) 身体の安全や日常の健康管理と心身の変化に即した気力・体力の充実。
- (2) スポーツ施設の活用と四季を通じたスポーツ・レクリエーション活動の充実。
- (3) 気力・体力に応じた健康づくり活動の継続と生活化。

2. 広い視野に立ち、他人を思いやる心豊かな人

高齢化社会の到来に際し、町民すべてが、他人への思いやりの精神と公共のために行動することが肝要です。

そのため、美しいものや崇高なものに感動する豊かな心情を育成するとともに、積極的な奉仕活動に参加するなど、社会連帯の自覚をもつことが必要です。また、信頼感をきずき、決まりや約束を守り、明るい羽幌町を目指していく努力が大切です。

(学校教育の推進事項)

- (1) 学校及び地域の教育力による「社会連帯」の自覚と積極的な奉仕活動の推進。
- (2) 「体験活動」の重視による思いやりの精神の醸成。
- (3) 学校・家庭・地域の連携による「家族愛」「隣人愛」の啓発と明るい社会生活の実現。

(社会教育の推進事項)

- (1) 社会の一員としての役割を自覚した思いやりのある家庭・地域づくり。
- (2) 人間として望ましい生き方の追求とボランティア活動の充実。
- (3) 様々な考えや立場を尊重した望ましい生活環境づくり。

3. 高い理想をもち、生きがいを求めて学び続ける人

生涯学習社会の中にあっては、生きがいを求めて学び続ける強い意志・態度の育成が肝要です。

そのため、自他の個性を尊重し、情報処理能力を高め、自然や社会に対する科学的知識を身につけるとともに、優れた芸術・文化に接し、教養を高めることが必要です。また、自分にあった趣味を生かしながら、余暇の活用をはかり、生きがいのある豊かな生活を創ることが大切です。

(学校教育の推進事項)

- (1) 「基礎・基本」の重視と「個性」を生かした教育の充実。
- (2) 生涯に渡り主体的に学ぶ意志や態度・能力の形成をめざした自己教育力の育成。
- (3) 郷土に根ざした「開かれた学校」の運営と地域の教育力の活用。

(社会教育の推進事項)

- (1) 夢や生きがいを求めて自ら学ぶ態度と学習機会への積極的な参加。
- (2) 心を豊かにする趣味と特技を生かした余暇生活の充実。
- (3) 心に潤いをもたらす芸術・文化の鑑賞と発表機会の充実。

4. 喜んで働き、うるおいのある家庭や地域をきずく人

先人のきずいた郷土羽幌の産業をさらに発展させ、幸せな社会実現のため、正しい勤労観を育成することが肝要です。

そのため、仕事の役割や責任を自覚し、働くことに誇りと喜びをもち、自主自立の生活を育むとともに、それぞれの職業の社会的価値を認識し、必要な知識・技能を修得し、自己を高めることが大切です。

(学校教育の推進事項)

- (1) 働く喜びをもたらす体験活動と進路指導の充実。
- (2) 郷土資源の活用と愛護をはかる環境教育の充実。
- (3) 自他の役割分担を自覚した勤労意欲の向上。

(社会教育の推進事項)

- (1) 社会の変化や将来を見通した生産技術の知識・技能の習得と家庭や地域における役割の認識。
- (2) 望ましい職業観と円満で充実した家庭づくり。
- (3) 自らの能力を生かした地域社会の連帯と豊かなふるさとづくり。

5. ふるさとを愛し、平和な国際社会につくす人

21世紀の国際化時代に生きる人間は、先ず、郷土や自国の自然や文化・伝統を尊重することが肝要です。

そのため、郷土の美しい自然や伝統的な文化に接し、積極的に継承し、愛護するとともに、豊かな生活を創造し、郷土愛の精神を育成することが必要です。

また、優れた異国の文化に接し、違いを認識するとともに、それを尊重し、国際感覚を身につけていくことが大切です。

(学校教育の推進事項)

- (1) 国際理解教育の推進と豊かな国際感覚の育成。
- (2) 羽幌の自然や動植物を愛護する学習機会の拡充。
- (3) 羽幌の文化や伝統の尊重と守り育てる活動の推進。

(社会教育の推進事項)

- (1) ふるさとの豊かな自然を活用した体験活動の充実。
- (2) 郷土資料の収集や郷土芸能の保存・伝承活動と新たな文化の創造。
- (3) 国際社会に生きる広い視野をもった積極的な国際交流と異文化の理解。

施 策 の 大 綱

(羽幌町総合振興計画における教育分野での基本構想)

施 策	施 策 内 容
1 豊かな心を育む教育を推進し、教育環境の整備・充実を図ります	<p>学校教育では、将来を担う児童の健やかな成長を図るべく、小学校の改築など校舎環境の整備を進めるとともに、学校図書・情報教育機器等の充実、安全・安心な給食の提供など教育環境の充実に努めます。</p> <p>また、高校教育では、豊かな人間性を持った生徒の育成のため、特色ある教育の取り組みへの支援を進めます。</p> <p>①幼児教育の充実 ②小中学校教育の充実 ③高等教育の充実 ④特別支援教育の充実</p>
2 誰もが生きがいを持って暮らせるよう、生涯学習等の学習機会を充実します	<p>本町では、町民の豊かな心の育成と誰もが生きがいをもって暮らせる地域を目指すため、体験学習の機会の提供など子ども達が健やかに育てる環境の充実や、魅力的な成人講座の開催など成人・高齢者教育の充実により学習できる環境をつくり、高度化・多様化する町民のニーズを的確に把握し、生涯学習を推進します。</p> <p>読書活動では、近年の情報メディアの急激な発達に伴う「読書離れ」に対応するため、図書室の利便性の向上を図るとともに、地域に根差した図書サービスを展開します。</p> <p>①社会教育の充実 ②少年教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤読書活動の充実</p>
3 地域との交流を積極的に促進します	<p>本町では、人と人との関わりにより、やりがいを持てる魅力ある元気なまちづくりを生み出しており、長年にわたる友好町村及び姉妹都市との交流は教育文化をはじめ、多方面に及んでいます。今後も更なる交流事業を展開し、これまでの「あゆみ」を次世代に引き継ぎ、まちづくりの大きな力となる多種多様なコミュニティ活動の支援を行っていきます。</p> <p>①コミュニティ活動の充実</p>

施 策	施 策 内 容
4 地域の特色ある 芸術・文化の振興 を図ります	<p>本町では、様々な文化団体やサークル活動による創作や発表活動が展開されており、魅力ある元気なまちづくりのための大きな力となっています。これらの文化、芸術活動の充実と普及に努めるとともに、伝統文化、郷土芸能を保存するため、活動の支援と後継者育成の支援を行います。また、郷土資料館の文化財を充実し、町民の財産を大切に保存するとともに、ふるさとを誇りに思い、その文化や歴史、伝統などを伝承するほか、他の地域にPRします。</p> <p>①文化の振興</p>
5 生涯スポーツの 普及・促進を図り ます	<p>本町では、幅広い年齢層の町民が健康な生活を送れるよう健康維持と体力づくりを推進するため、各種スポーツ施設の長寿命化や維持経費の縮減を考慮した計画的な整備に努め、各種スポーツ団体、少年団の活動の支援や、地域のスポーツ指導者の育成や活用を行います。</p> <p>①生涯スポーツの推進</p>
6 国際交流を支援 します	<p>国際交流では、地域を担う視野の広い人材の育成を進めるため、外国語指導助手（ALT）を通じて、学校教育や地域活動などの地域レベルでの外国文化の認識・理解の向上を図るとともに、諸外国との国際交流事業の支援を図り、多文化共生のまちづくりを進めます。</p> <p>①国際化の推進</p>

平成 28 年度 羽幌町教育行政執行方針

1 幼児・青少年教育

社会の複雑多様化に伴い、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、家庭・学校・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要があります。

各関係機関と連携を密にし、子どもたちの様々な体験活動やスポーツ・文化活動への関心を助長してまいります。少年団活動充実のための全道大会出場補助金を継続し、保護者の負担を軽減することで、子どもたちの活動を支援してまいります。

また、地元の自然にふれ、地域を知る機会を作るとともに、その中でリーダーの育成、指導者の養成も推進してまいります。

【継続事業】

子ども自然教室、ほっとクラブ、子ども英会話教室、優良青少年顕彰、中高生講演事業、子どもパトロール隊、子ども 110 番の家

2 成人教育

町民の多種多様な学習ニーズに応じた学習や交流機会の提供や指導者の育成が求められております。自主的なサークル活動への支援と各種の学習機会の開設などに取り組み、活動の活性化に努めるとともに、各種学習情報の提供を行ってまいります。

また、高等教育機関等との連携を密にした講座の開設も継続いたします。

さらに、60 歳以上の方を対象とした「いちい大学」を開校し、「生きがいくくり」「健康づくり」「仲間づくり」の 3 本を基本理念に、健康で明るい生活を築く学びの機会を提供しておりますが、カリキュラムを充実し、生きがいくくりと社会参加の促進を図ってまいります。

【継続事業】

いちい大学、成人講座、成人式、羽幌高等学校教養講座補助事業、天売高校学校開放講座事業

3 家庭教育

家庭教育は、基本的な生活習慣や、他人に対する思いやり、社会的なルール、学習に対する意欲や態度などの基礎を子どもたちに育むものであり、すべての教

育の原点です。

近年ライフスタイルの変化は、家庭の日常的な生活習慣の乱れに結びつき、子どもの生活習慣にも大きく影響していることが指摘されています。こどもの健康な認知発達には親子の関係を含めて日々の生活習慣全般が大きく影響するところから、いま改めて「早寝・早起き・朝ごはん」運動を家庭教育の柱に据えて推進してまいります。

また、家庭の教育力向上には、その中心となる親が十分に子どもの教育を行うために知識・技能と態度について学ぶことが重要であり、親と子どもの成長を社会全体で支えることが必要です。そのための学習機会や情報の提供を、これまでと同様に行ってまいります。

【継続事業】

羽幌町青少年問題協議会、羽幌町子ども会育成連絡協議会補助事業、
羽幌町PTA連合会補助事業

4 健康づくり、スポーツ活動

スポーツは、爽快感や達成感、他者との連帯感などの精神的な充実感や楽しさと喜びをもたらし、健康増進や体力の向上、青少年の人間形成等に資するなど、心身ともに健康で充実した生活を送るためには欠かせないものであります。

今後も各種スポーツ事業の充実を図ってまいりますとともに、老朽化が進んでいるスポーツ施設につきましては適切な改修計画をたて整備をしてまいります。

【継続事業】

総合体育館指定管理事業、姉妹都市文化スポーツ交流、町民スキー場びゅーまつり、スポーツ教室（コーディネーショントレーニング・水泳）、学校プール開放、マラソン大会事業

5 文化活動

文化や芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、心豊かな活力ある社会形成にとって極めて大きな意義があります。

このため、文化・芸術活動を広く奨励し、羽幌町文化協会への支援を行うほか、中央公民館において、活動の場や、鑑賞、発表の場を引き続き提供してまいります。

「書の北溟記念室」においては、羽幌町出身の書家中野北溟氏から寄贈された作品を計画的に表装、展示してまいります。

また、本町には貴重な文化財や郷土芸能があります。ふるさとが素晴らしいまちであることを誇りに思い、その文化や歴史を後世に伝えて行くことが重要なことから、郷土芸能団体の保存育成に支援してまいります。

【継続事業】

文化事業実行委員会補助事業、のびのび子育て公演、少年少女芸術鑑賞事業、離島地区芸術劇場、中野北溟記念室管理、町民芸術祭実行委員会補助事業、芸術鑑賞バスツアー、羽幌町郷土芸能団体保存育成補助事業

6 読書活動

近年、情報メディアの発展により、読書に関する環境は大きく変化しており、「読書離れ」が指摘されております。とくに子どもたちにおいては、かけがえのない一冊の本との出会いは、豊かな人間性と豊かな生き方を身につけるうえで大変重要であると考えます。

公民館図書室を充実し、地域に根ざした身近で利用しやすい図書サービスを提供するとともに、子育て支援や各学校と連携した読書活動推進の取り組みを進めてまいります。

【継続事業】

図書システム整備事業、ブックスタート事業、おはなし会補助事業

【新規事業】

学校図書館ブックフェスティバル事業、セカンドブック事業

社会教育は、各種の学習や体育・スポーツ活動、芸術・文化活動であり、自発的に自己の充実や生きがいを目指して行われるものであります。「誰もが居場所と生きがいを持って暮らせるまち」を目標に、町民が「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができ、「楽しみ」や「生きがい」を求めることで、その成果が地域のまちづくりに生かされるよう継続的、発展的な事業の推進と支援に努めてまいります。

以上、「第6次羽幌町総合振興計画」及び「羽幌町教育大綱」を踏まえ、平成28年度の羽幌町教育行政執行方針を申し上げます。その執行にあたりましては、各関係機関・団体等と密接な連携を図りながら、本町教育の振興発展に努めてまいります。

議員各位をはじめ、町民皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

社 会 教 育 事 業

1 豊かな心を育む教育を推進し、教育環境の整備・充実を図ります

【幼児教育の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
のびのび子育て教室 人形劇「14匹のはる・ なつ・あき・ふゆ」	就学前児童、未就園児親子に演劇等を鑑賞する機会を提供し、子どもの情操教育を行う。	9/14	中央公民館	羽幌保育園／各幼稚園／関係機関

2 誰もが生きがいを持って暮らせるよう、生涯学習等の学習機会を充実します

【社会教育の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
郷土資料館管理事業	貴重な郷土資料や羽幌産化石の保存を図るとともに、郷土学習の機会を提供し、文化財保存に対する町民の意識高揚を図る ・郷土資料館の維持管理業務	5月 ～ 10月	郷土資料館	文化財調査委員
焼尻郷土館管理事業	道指定有形文化財旧小納家の資料保存と郷土学習の場としての活用を図る ・焼尻郷土館の維持管理業務	5月 ～ 9月	焼尻郷土館	文化財調査委員
公民館管理事業	公民館を町民の多様なニーズに対応できる施設として整備し、安全で快適な生涯学習の場とする。 ・防犯カメラ設置 (小ホール側出入口)	随時	中央公民館	公民館運営審議会

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
公民館改修事業	・変圧器取替修繕 ・外壁亀裂応急補修		中央公民館	
公民館旧館改築計画事業	羽幌町公共施設マネジメント計画を受け、公民館旧館（図書室含）の改築に向けた計画案を検討する。	随時		公民館等利用団体 文化協会 関係各団体
文化道場管理事業	文化道場（旧高校剣道場）の維持管理。	随時	文化道場	
町広報誌等による生涯学習情報の提供	生涯学習推進のため、各種学習機会や学習情報を定期的に提供する。	随時		行政各課 社会教育関係機関 ・団体
出前講座 「ほっと講座はぼろ」	町職員を講師とした学習機会の提供により、生涯学習の推進を図る。	随時		行政各課 社会教育関係機関 ・団体
管内社会教育主事研修会	留萌管内の社会教育の現状と、共通課題について把握し、解決のための方策等を調査・研究する。	随時		留萌管内社会教育主事会
管内社会教育委員研修会	各市町村社会教育委員が現状や課題等を協議し、社会教育活動の振興を図る。	11月	羽幌町	留萌地方社会教育委員連絡協議会
北海道市町村社会教育委員長等研修会	生涯学習の観点に立った社会教育推進のため、課題を研究協議し、社会教育の振興・充実につとめる。	7/8 ～9	札幌市	北海道社会教育委員連絡協議会
北海道社会教育研究大会	研究協議を深め、社会教育活動の成果や課題等の情報交換を行い、今後の社会教育活動の一層の充実に資する。	10/13 ～14	富良野市	北海道社会教育委員連絡協議会

【少年教育の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
ほっとクラブ	<p>青少年の健全育成のため、放課後の学校外活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほっとクラブ <p>対象 (小学1年～6年)</p>	5月～ 3月	中央公民館 他	町内小学校
子ども自然教室	<p>様々な体験を通して知識を養い、郷土を愛する心を育むとともに、学校外活動を促進する。</p> <p>(「ふるさと教育」として天売、焼尻児童との合同キャンプを夏休みに予定。地元の自然・地域の現状を知る機会を作る。今年度は羽幌ほか管内予定)</p> <p>対象：小学4～6年</p>	5月 ～ 3月	中央公民館 他	町内小学校
子ども英会話教室	<p>生きた英語に接することで、英語の楽しさを体験し、子どもの英語に対する関心を高める。</p> <p>対象：小学1～6年</p>	7～8月 12～1月 長期休業期間	中央公民館	各小学校 学校管理課
かるた教室	<p>かるたを通じて、日本の伝統文化の保存と伝承を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かるた教室 ・ 羽幌町子ども百人一首大会 (補助事業) ・ 第19回北海道子どもカルタ大会北留萌地区予選会 (補助事業) 	随時 12月～ 1月 1月 1月	中央公民館	<p>歌留多愛好会</p> <p>子ども会育成連絡協議会</p> <p>留萌地区青少年育成連絡協議会</p>

少年芸術鑑賞事業 (対象：小学生)	小学生に優れた舞台芸術の鑑賞の機会を提供することで、感受性豊かな人間としての育成を図る。 ・劇団四季こころの劇場公演	9/12	羽幌小学校	羽幌小学校 管内小学校
講演事業 (対象：中学・高校生)	人々の絆や生きることの素晴らしさなど、講演を通じて伝え、生きる力を育むための事業。 羽幌高校生も招待することにより魅力ある高校づくりの一端を担う。		中央公民館	町内各中学校 羽幌高校
青少年問題事業	青少年健全育成のため、青少年の指導、育成、保護および矯正。 ・青少年問題協議会委員会 ・青少年問題協議会幹事会議	随時	羽幌町役場 中央公民館	青少年問題協議会 各少年団関係団体
こども110番の家・こどもパトロール隊事業	地域で子どもを守るための取り組みとして、不審者等に対する監視体制を整える。	随時	町内通学路等	青少年問題協議会 子ども会育成連協 少年補導員連協 町内各事業所
優良青少年顕彰	青少年の健全育成を図るため、他の模範となるべき行為のあった青少年を顕彰し、広く青少年に誇りと自信を与える。	3月	中央公民館	羽幌町 各小中高等学校 青少年関係団体

P T A連合会事業	小中学校P T A連合会等への支援事業。 ・補助金交付			留萌管内 P T A 連合会 町内小中学校 町内小中学校 P T A
P T A 社会教育研究大会	小中学校P T A連合会との共催により開催。 主に講演会を実施			町内小中学校 町内小中学校 P T A
子ども会育成事業	羽幌町子ども会育成連絡協議会への支援により、 子どもの健全育成に資する。 ・活動支援 ・補助金交付	随時	中央公民館	子ども会育成連絡協議会
子どもフェスティバル (育成協補助事業)	町内の子どもが集い、レクリエーションを通じて親睦と交流を図り、子ども会活動の活発化を図る。 (補助事業)	5/15	レストパーク	子ども会育成連絡協議会 他
ぼくの主張・わたしの主張コンクール (育成協補助事業)	青少年に対する住民の理解・関心を深めることを目的とする。 (補助事業)	9月 上旬	中央公民館	子ども会育成連絡協議会／各小中学校
少年の主張留萌大会への派遣	中学生を大会に派遣し、日常の考えや体験の発表を通して青少年の健全育成に寄与する。	8月	留萌市	北海道留萌振興局 北海道青少年育成協会 各中学校
青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」	中学生を大会に派遣し、少年リーダーの養成と活動の活発化に努める。			各中学校／各中学校 P T A 道立青年の家

【成人教育の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
成人式	成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。 ・成人式式典 ・日本の凧展示	1月 8日	中央公民館	成人式実行委員会
成人講座	生きがいのある生活を送るため、学習や体験を通じて知識や技術を習得する場を提供する。	随時	中央公民館	
高等学校講座	生涯学習社会の実現を目指して、学校のもつ教育力と学校施設を地域に開放し、各種講座を実施する。	随時	羽幌高等学校 天売高等学校	羽幌高等学校 天売高等学校
北海道青少年顕彰	勤労や地域青年活動等に意欲的に取り組んでいる模範青年を推薦し顕彰する。	随時		北海道 町内各事業所

【高齢者教育の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
高齢者教育事業	高齢者教育の充実を図るとともに、関係団体との連携や他市町村の高齢者大学等との交流を深める。 ・いちい大学 ・道民カレッジ連携講座	随時	中央公民館	道民カレッジ

【読書活動の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
図書室運営事業	図書資料、視聴覚資料、その他必要資料等の整備拡充を行うことにより、町民に自由に学ぶ機会を提供する。	随時	図書室	
読書指導・レファレンスサービス	図書貸出時における読書マナー及び読書指導を行うとともに読書相談・調査研究を行う。	随時	図書室	
読書活動推進事業	読書に興味を持ち、ふれあう機会を提供する。 ・ブックスタート事業 ・セカンドブック事業 ・読書手帳事業 ・あざらしおはなし会支援	随時	図書室 すこやか健康センター	図書ボランティア 福祉課
読書感想文コンクール	読書週間にあわせ、コンクールを開催し読書活動の推進に資するとともに発表の場とする。	9月～ 10月	中央公民館	町内小中学校
学校ブックフェスティバル事業	大量の図書に触れ自ら学ぶことを通して潜在化している子どもの読書意欲を引き出し、読書活動を推進する。	7/6	羽幌小学校 体育館	羽幌小学校 北海道立図書館
学校図書館連携事業	図書室と各学校の連携を深め、学校図書館の充実を図り、子どもたちの読書環境の向上と読書活動の活性化を目指す。 図書室司書が学校司書として小中学校を訪問。	随時		町内小中学校 天売高等学校

図書情報システム整備事業	公民館図書室、町内各学校図書室の蔵書管理及び貸出返却業務の効率化を図る。	随時	図書室	町内小中学校 天売高等学校
巡回文庫	図書室蔵書を町内施設に定期的に貸出し、町民の読書活動の推進を図る。 1. 離島巡回 2. 道立羽幌病院 3. 特別養護老人ホーム 4. 発達支援センター 5. 子育て支援センター 6. 町内小中学校・天売高等学校 7. 保育園・天売ちびっこランド	4月 ～ 3月	天売支所 焼尻支所 道立病院 老人ホーム	天売焼尻支所／道立病院／老人ホーム／関係施設
北海道立図書館資料展示	外国語絵本等の展示	4/16 ～ 5/10	図書室	北海道立図書館

3 地域との交流を積極的に促進します

【コミュニティ活動の充実】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
姉妹都市友好町村作品交流事業	友好町村・姉妹都市との作品交流を実施する。	10～ 11月頃		南砺市平地区 内灘

姉妹都市文化スポーツ 交流事業	文化スポーツを通じた姉妹都市との交流事業の実施により、両町の絆を深め、その意義を後世に受け継ぐ。 ・スポーツ少年団等交流	8/6 ～8	内灘町	羽幌町
--------------------	---	-----------	-----	-----

4 地域の特色ある芸術・文化の振興を図ります

【文化の振興】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
「書の北溟記念室」管理 事業	寄贈された作品の展示、 管理を行い、本町の文化 振興の発展に寄与する。 ・作品額装委託 ・展示作品の入替	随時	中央公民館	
文化公演事業 (映画「じんじん」 大地康雄氏講演) (実行委員会補助事業)	芸術文化に対する関心を 高め、芸術文化活動を促 進し、生涯学習の推進を 図るため文化公演開催に 補助する。 (補助事業)		中央公民館 天売島 焼尻島	羽幌町文化事業実 行委員会
離島地区芸術劇場事業	天売及び焼尻島民に優れ た舞台芸術などの鑑賞機 会を提供し、文化に対す る関心を深める。	8/30 ～31		焼尻小中学校 天売小中学校
芸術鑑賞バスツアー事 業	優れた芸術文化の鑑賞機 会を提供する。	年2回 ①7/16 ②未定	札幌市他	

写真展示	写真を通じた文化活動の推進。 ・写真道展巡回展 ・北海道二科会写真展	6/15～ 23 4/5～ 4/10	中央公民館	北海道二科会 北海道写真協会
巡回陶芸展	留萌地方の陶芸愛好者の作品交流と文化活動の推進。	10月	中央公民館	
小学校夏休み・冬休み作品展	学校でしか見ることのできなかつた作品を公民館に展示することにより、広く町民に発表の機会を提供するとともに、子どもたちへの意欲につなげる。	9月 2月	中央公民館	羽幌小学校
児童生徒絵画・ポスター展入賞作品合同展	町内幼稚園・保育園・小・中・高校生が全道・全国で開催された絵画等作品展において入賞した作品を合同展示する。	2月	中央公民館	各小中高等学校 幼稚園・保育園
町民芸術祭事業 (実行委員会補助事業)	日頃の活動の成果を発表する機会として、また、多くの文化団体及び町民の交流の場として実施。 ・展示部門 ・舞台部門 (補助事業)	10/29 ～31 11/3	中央公民館	町民芸術祭実行委員会／文化協会／各幼稚園／羽幌保育園／各小中高等学校

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
留萌地方道民芸術祭 (実行委員会事業)	留萌地方の特色ある芸術文化活動の交流を通して、新たな文化の創造と潤いある地域社会の実現を図る。	10～ 11月頃	羽幌町	道民芸術祭実行委員会 文化協会
文化協会への支援	文化協会の運営、活動に対し積極的な支援を行い、町民の文化活動を推進する。	随時	中央公民館	文化協会
文化団体の育成	町指定無形文化財（加賀獅子舞・越中赤坂奴舞・平越中獅子舞・オロロン太鼓）の活動を支援する他、こきりこ唄・町民芸術祭等の文化活動を助長し、町民の豊かな心を育み、文化の振興を図る。	随時		文化協会／各文化関係団体
羽幌町郷土芸能団体保存育成事業	郷土芸能の保存及び振興並びに後継者育成を図るとともに、地域における伝統行事の発展と伝統行事の継承のための備品整備に対し補助し支援する。	随時		各郷土芸能関係団体
文化賞・体育賞事業	文化・スポーツ活動において功績のあった個人や団体を表彰し、文化及びスポーツの振興及び発展を促進する。	3月 上旬	中央公民館	体育協会 文化協会

文化財管理事業	町内に所在する文化財の管理・保全とその活用。	随時	中央公民館	文化財調査委員
文化財資料の収集・登録並びに整備	郷土資料の収集活動の持続と充実。また、無形文化財資料の収集も進め、貴重な資料の調査収集にあたる。	随時		
町指定文化財の指定	特に貴重な文化財の保存・保護のため、町文化財の指定を行なう。	随時		文化財調査委員
天然記念物管理事業	国指定の天然記念物（天売海鳥繁殖地、焼尻自然林）の管理・保全とその活用。	随時		
埋蔵文化財の整備保存	チライバツ・天売・焼尻・寿・栄町・幸町・築別1遺跡及び埋蔵文化財包含地を保存する。	随時	各遺跡及び包含地	文化財調査委員 北海道教育委員会 留萌教育局
銃砲刀剣の登録等事務指導	銃砲刀剣の登録事務並びに登録に関する指導を行う。	随時		北海道教育委員会 留萌教育局

5 生涯スポーツの普及・促進を図ります

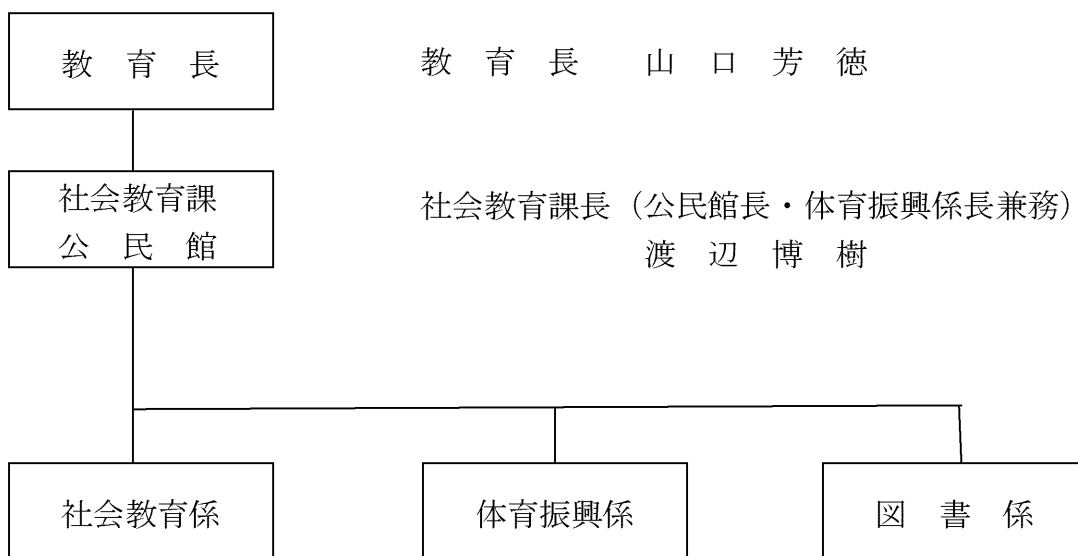
【生涯スポーツ活動の推進】

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
総合体育館指定管理事業	民間組織の持つノウハウを体育館運営に活用することで多様化する住民ニーズに効果的に対応し、スポーツ振興や施設の維持管理費の節減を図る。		総合体育館	NPO 法人羽幌町体育協会
総合体育館備品補修事業	・駐輪場修理		総合体育館	
羽幌町武道館管理事業	羽幌町武道館維持管理を図る。 ・柔道用畳購入	随時	羽幌町武道館	
スポーツ公園管理事業	スポーツ公園内各施設の維持管理。 主な施設 野球場 A・B サッカー場 パークゴルフ場 陸上競技場 遊歩道 管理棟等	随時	スポーツ公園	
スポーツ公園整備事業	長寿命化計画による整備に向け、緊急度に応じて公園内各施設の必要な調査及び整備、補修等を行う。 ・埋設物現況測量調査委託 ・B 球場連絡路雨水整備 ・A 球場外野フェンス補修 ・B 球場仮設トイレ改修 ・パークゴルフ場物置移設	随時	スポーツ公園	

スポーツ公園備品購入	・貸出用パークゴルフ用具の購入		スポーツ公園	
公園施設長寿命化計画に基づく整備事業	北海道への申請・要望及び予算要求を行う。	随時	スポーツ公園	
南町運動広場管理事業	南町運動広場の維持管理。 主な施設 グラウンド テニスコート ゲートボール場 トイレ	随時	南町運動広場	
南町運動広場整備事業	南町テニスコートの整備 ・外周ネット張替 ・電気設備改修		南町運動広場	
町民スキー場管理事業	町民スキー場の維持管理 ・ペアリフトの維持管理 ・ロッジの維持管理 ・圧雪車等の維持管理	12月	町民スキー場	
町民スキー場整備事業	町民スキー場ペアリフトの整備 ・常用制動機分解整備 ・非常用制動機更新		町民スキー場	
学校プール開放事業	地域住民の夏場の体力づくり、健康づくりを推進する。	6月中旬～9月中旬	羽幌小学校プール	羽幌小学校
スポーツ教室実施事業	継続して実施できるスポーツ教室を実施し、町民の運動習慣定着を図る。 ・コーディネーショントレーニング教室 ・水泳教室（幼児・小学生）	随時	総合体育館 他	NPO 法人羽幌町体育協会

事業名	目的・内容	期日	会場	関係機関
スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及振興を図る。 ・ラジオ体操の普及 ・焼尻島民大運動会補助 ・天売体育協会補助 ・羽幌町体育協会への支援 ・スポーツ少年団への支援 (補助事業)	随時		
スポーツ少年団全道大会出場補助事業	予選を経て全道規模以上の大会へ出場する選手に補助し、青少年のスポーツ振興を図る。 (正選手1人1万円) (補助事業)	随時		スポーツ少年団
オロロンライン全道マラソン大会開催事業	宣言タイム制の全道規模のマラソン大会の開催を通じ、スポーツの振興を図る。	7/24	総合体育館 ～汐見	NPO 法人羽幌町体育協会
おろちゃんマラソン大会開催事業	体育の日の記念事業として、主に管内、町内を対象としたマラソン大会を開催しスポーツの振興を図る。	10/9	総合体育館 ～中央	NPO 法人羽幌町体育協会
羽幌町民スキー場びゅーまつり開催事業	スキーが無くても楽しめるメニューを取入れた冬のイベントを実施し、普段スキーに関心のない町民にもスキー場やウィンタースポーツに関心を持ち感動体験をしてもらう。	2月	町民スキー場	各小中学校 羽幌スキー連盟

社 会 教 育 関 係 職 員



教育長 山口芳徳

社会教育課長 (公民館長・体育振興係長兼務)
渡辺博樹

社会教育係
係長 高橋 司
主任 松木 美恵子
主任 茶谷 久恵
主事 (体育振興係主事兼務)
主事補 山本 和樹
主事補 和田 雪奈

体育振興係
係長 (課長兼務)
主査 近藤 健弘
主事 渡辺 将平
(社会教育係兼務)

図書係
係長 春日井 寿美子

嘱 託

(公民館)

實川 利治
村田 菊男
金田 幸恵

(焼尻郷土館)

飯澤 幸子

(体育振興)

杉澤 敏隆

(図書室)

島 麻里

臨 時

(郷土資料館)

中山 康彦
伊藤 博

社会教育関係委員

1. 羽幌町教育委員

(平成28年4月現在)

職名	氏名	性別	住所	備考
教育委員長	森 弘子	男		
委員長職務代理	松 田 肇	男		
教育委員	佐 藤 善 昭	男		
教育委員	米 谷 日登美	女		
教 育 長	山 口 芳 徳	男		

2. 羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員

(任期：平成28年5月1日～平成30年4月30日)

氏名	性別	住所	関係機関・団体	備考
大 水 隆 司	男		羽幌小中学校長会	
長谷川 博	男		羽幌小中学校長会	
植 松 寛 喜	男		北海道羽幌高等学校	
本 間 範 子	女		羽幌町文化協会	
松 森 克 彦	男		NPO 法人羽幌町体育協会	
岩 澤 光 子	女		羽幌町社会福祉協議会	
佐々木 一 樹	男		羽幌小中学校PTA連合会	
西 村 教 子	女		本の読み聞かせグループ	
工 藤 俊 也	男		羽幌町子ども会育成連絡協議会	
鈴 木 真 一	男		学識経験者	
小 國 美恵子	女		学識経験者	
大 長 司	男		学識経験者	藤幼稚園内
山 田 守	男		学識経験者	

3. 羽幌町文化財調査委員

(任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

氏名	性別	住所	備考
中山康彦	男		町の歴史
彦野幸正	男		町・加賀獅子舞の歴史
齊藤弘勝	男		天売島の歴史
清水守	男		林業の歴史・化石の発掘調査
渡辺忠	男		町・炭鉱の歴史
工藤俊也	男		町・炭鉱の歴史
飯澤幸子	女		焼尻島の歴史/焼尻の文化財保存
佐々木隆浩	男		町の歴史
菊地瞳	男		町の歴史

4. 羽幌町青少年問題協議会委員

(任期：平成28年5月1日～平成30年4月30日)

氏名	性別	住所	関係機関・団体	備考
山口芳徳	男		羽幌町教育委員会教育長	
佐野光治	男		羽幌警察署長	
大水隆司	男		羽幌小学校長	
長谷川博	男		羽幌中学校長	
植松寛喜	男		北海道羽幌高等学校長	
小川礼子	女		羽幌町民生委員協議会	
強力孝博	男		羽幌町子ども会育成連絡協議会	
村上政五郎	男		羽幌地区保護司会	
木村勇	男		NPO法人羽幌町体育協会	
岩崎幸治	男		羽幌町文化協会	
小國美恵子	女		羽幌地区更生保護女性会	

5. 羽幌町青少年問題協議会幹事

(任期：平成28年5月1日～平成30年4月30日)

氏名	性別	住所	関係機関・団体	備考
舟橋 由紀子	女		羽幌まき幼稚園	
大長 司	男		羽幌藤幼稚園	藤幼稚園内
藤澤 晋一	男		羽幌小学校	
佐藤 孝司	男		羽幌中学校	
越前 友博	男		北海道羽幌高等学校	
金森 竜介	男		羽幌警察署	
山田 明美	女		羽幌警察署少年補導員連絡協議会	
千田 麗子	女		羽幌民生委員協議会	
中島 芳子	女		羽幌地区更生保護女性会	
小西 和幸	男		羽幌町子ども会育成連絡協議会	
佐々木 一樹	男		羽幌小学校PTA	
佐藤 宇礼	男		羽幌中学校PTA	